

© 発行 中京大学
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町 101-2
■中京大学スポーツ編集局
(スポーツ振興室内)
TEL 0565-46-6935
http://www.chukyo-u.ac.jp



中京大学スポーツ

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

2015 (平成 27) 年
4月23日
第9号



米国人留学生(手前)も参加して盛り上がった
中京大学の応援(4月4日、瑞穂球場)

やり投げの新星 石山選手

今春、有望な新人選手が多数入学した。陸上競技部の石山歩選手(スポーツ科1、花園)はその筆頭格だ。昨年のインターハイで砲丸投げと円盤投げで優勝、やり投げも準優勝という歴史に残る競技成績を残した。その後、左脚骨折を手術し、リハビリを終えて再起しつつある。今後はやり投げを中心に、「2020年の東京オリンピックでしっかり勝負したい」と将来の目標を見据えている。

「東京五輪で勝負」



田内コーチ(右)の指導を受ける石山選手。中央奥はディーン選手

揺れるトリコロール 野球応援に300人

三塁側スタンドがトリコロールで揺れた。愛知大学野球の春季リーグが、知大野球部の春季リーグが、知大オリジナルのマフラー4月4日、名古屋パロマ瑞穂球場で開幕した。中京大学硬式野球部の初戦、愛大戦には、学園関係者が多数詰めかけ、赤、白、青色のスクールカラーを採用したマフラーやタオルやチアグッズを振り、選手たちに声を届けた。硬式野球部が今年1月に開催した野球教室に参加したシニアリーグの選手たちも駆けつけた。愛知西リ

トルシニアの山岸陽希選手(中学1年)は「自分に与えられた役割や仕事をしっかりと果たしていき、」と話し、教室で指導してくれただ学生の真剣プレーに感激していた。中京大中京の硬式野球部からは約80人が大挙して応援に参加。2年の瀬川凌一選手は「初球から積極的いき、つなげる野球ができていくのがすごい」と話し、自分たちの野球にプラスになったようだった。中京大は愛大戦に連勝し、幸先いスタートとなった。現代社会3、池尾和哉写真も「関連記事4面」

フィギュア世界選手権 6位入賞 本郷選手 「学業と両立」

フィギュアスケートの本郷選手は「世界選手権日本代表、本郷選手(愛知みずほ大瑞穂)が中京大学スポーツ科学部に入学した。4年間学業にも頭張りたい。学業とスケートを両立させたい。本郷選手は中京大学で大きな成長



初出場の世界選手権ショートプログラムで華麗な演技を見せた本郷選手(3月26日中国・上海、AFLO SPORT 撮影)

インターハイ投てきで、1963年の室伏重信選手(中京大名誉教授)、74年の杉田和巳選手が3冠に輝いている。ただ、二人とも砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げの組み合わせだ。石山選手は砲丸投げではインターハイ3連覇を成し遂げたが、「日本人にも、より遠くに飛ばせるやり投げ」を専門種目にするつもりだ。中京大学准教授の田内健二・投てきコーチも「やりで2020年の東京五輪を狙わせたい」と青写真を描いている。石山選手はインターハイ後の昨秋、左脚の痛みに

中京大学のスポーツ情報 大学HPの「スポーツ」(http://sports.chukyo-u.ac.jp/)、facebook「スポーツ振興室」(左下QRコード)で紹介しています。「中京大学スポーツ」に関するご意見は、スポーツ振興室(sports@mng.chukyo-u.ac.jp)へお寄せください。

男子「参加」女子は「応援」

違い浮き彫り 第2回新入生スポーツ関心度調査

新入生を対象にした第2回スポーツ関心度調査の結果、本学スポーツの応援・観戦をする「応援プロジェクト」の希望者は、全11学部で女子学生が男子学生を上回る事がわかった。一方で、男子学生は自分が部活やサークルでスポーツをする「参加スポーツ」の希望が強く、男女でスポーツ

2912人回答 村上教授分析

スポーツへの関心度は85・1%と高く、本学スポーツの応援観戦希望も71・7%に上り、昨年とほぼ同率だった。ただ、「大学スポーツへの関心」「体育会への参加希望」「公開練習見学希望」の5項目への、後者は「体育会の応援希望」「豊田キャンパス公式戦観戦希望」と、硬式野球、サッカー、フィギュアスケート、バスケ

なら65・2%、「授業・ゼミの1環なら」44・6%、「割引券があれば」12・6%と、三つの選択肢では入場無料の要望が強かった。また、村上教授はデータ分析に基づき、「参加スポーツ得点」と「応援スポーツ得点」を定義した。前者は「スポーツへの関心」「大学スポーツへの関心」「体育会への参加」「女子は「応援」という全般的な傾向が明確に表れた。

新体育会長に種田教授



前会長の高橋繁浩スポーツ科学部教授が4月から2004年中京大学生命工学部教授、14年工学部教授、4月から副学長に就任している。

種田新会長は「体育会員の皆さんがより大きな成果を挙げられるよう支援し、伝統ある体育会のさらなる発展のために会員と一緒に日本代表として出場したい」と話している。

先輩NOW



全てがプラスになった

1985年度体育学部卒。86年10月、大阪市中央区で友人とラナを設立。90年には東京事務所を開業。現在は専務として、大阪と東京を往復してラナの運営に当たっている。今年も「ラナ」の成長を喜んでいる。

株式会社ラナ専務 無田 恵二さん

全てがミッキーマウス、ドラえもん、日本各地のキャラクター……。さまざまなカラフルなグッズが会議室に並んでいた。大阪・南船場にある株式会社ラナは、無田さんが友人らと設立した。会社の主な業務は、キャラクターグッズやオリジナルギフトの企画、製造・販売。特許や著作権を持つ人や企業からライセンスを受け、商品化する。夢を売る商売だ。「子供の頃からスポーツ、絵、音楽、何にでも興味がありました」。絵は、大学時代の陸上仲間が「プロ級の腕前」と口をそろえる。その面やデザイン感覚によって「アイス」との契約にもこぎつけた。音楽では当時、陸上の試合の合間を縫って全国の他大生とともにボランティアで「わたぼうしコンサート」に参加。ドラムスを担当した。会社を設立した友人は「その時の仲間だ。陸上競技との出会いは中学生の時。先生に勧められ、砲丸を投げてみたらよく飛んだ。地域の大会で新記録を出し、水俣高校でも競技を続けた。高校時代の恩師が多数出るとの難コースだった。富田選手は予選のタイムトライアルを3位で通過、トーナメントに残り、決勝に進出した。富田選手は「表彰台には乗れなかったが、高い技術とフィジカルが必要だと改めて痛感しました」と話している。

棒高跳びやハードルは、専門の選手の一挙手一投足を見て学んだ。「技術を盗む」しかなかった僕にとって、グラウンドのこと全てがプラスになりました。そして日本選手権で4位と6位、2度の入賞を果たした。「大学では先輩に厳しく育てられ、人間形成ができた」と振り返り、自身も「何事にも真面目に素直に取り組むことを心がけた」。

今、大事にしていることは、「客から注文をもらったら、それにプラスしたものを提案すること。それには不断の努力が重要だ。現役生に対しては「真面目に精一杯、素直に取り組みなさい。正直者は騙されなさい、仕事はいつか必ず報われますよ」と力を込めた。

今年で4回目となる中京大学・明治大学サッカー交流戦が3月21日、愛知県豊田市の豊田スタジアムで行われた。中京大の学生、教職員のほか、明治大OB、一般市民ら約1500人が詰めかけ、好プレーに盛んに拍手を送った。



豊田スタジアムのスタンドで応援する中京大学体育会の学生ら(法2、海江田剣太)

体育会功労賞に8団体

中京大体育会の2014年度功労賞に8団体118人が選ばれた。前年度より3団体58人少なかった。表彰式は3月6日に豊田キャンパスで行われ、同日夜には豊田市内のホテルで祝賀会が開かれた。

フィギュアインカレ 初の男女V

団体表彰のうち、スケート部は1月の日本学生氷上選手権(インカレ)のフィギュアスケート部門で、初めて男女そろっての優勝を勝ち取った。陸上競技部女子と水泳部男子は、インカレで優勝には届かなかったものの準優勝で賞状を示し、体操競技部女子はインカレで初の表彰台(3位)に上った。表彰式では、高橋会長(当時)が一人ひとりに表彰状を手渡し、「2020年に東京でオリンピックが開催されることが決まり、日本中がスポーツに関心を深めています。皆さんにはぜひ、上を目指してほしい」と激励した。

富田選手3位

第21回全日本スキー選で、富田マリア選手は「表彰台には乗れなかったが、高い技術とフィジカルが必要だと改めて痛感しました」と話している。

全日本選手権スノーボードクロス

富田選手は予選のタイムトライアルを3位で通過、トーナメントに残り、決勝に進出した。富田選手は「表彰台には乗れなかったが、高い技術とフィジカルが必要だと改めて痛感しました」と話している。

めざせ水泳学生日本一

自由形難波選手 背泳ぎ小西選手

学生日本一を目指す水 入学早々、日本選手権で力泳部の新戦力の中でも、男 泳するなど、期待の星だ。子の難波選手(スポーツ 難波選手は、「スタート 科1)女子では小西杏奈選 から爆発的に力を出せるの 手(スポーツ科1)の動き が強み」と自らを分析する 国ジュニアオリンピック杯 50分、100分自由形とい ンターハイ50分自由形優勝 22秒台、100分は50秒



元気いっぱいの難波選手(左)と小西選手



寺本選手(中央)から大学生活のアドバイスを 受けている湯元選手(右)と松村選手

期待の体操湯元、松村選手

寺本選手「全日本 団体優勝したい」

前半と定めている。 佐々木祐一コーチは 「基礎は高校で出来ており、 後はスピードに特化した練 習でさらに泳ぎを研ぎ澄ま す。いかに最後までスピー ードを維持するかだ」と課題 を挙げる。 小西選手は、昨年の日本 草薙健太コーチは「体の 軸がしっかりし、体の浮き 層の厚さに魅力を感じた」 方と姿勢の保ち方がすばら しい」と長所を分析する。 小西選手は「設備の充実 など練習環境の良さで選手 層の厚さに魅力を感じた」 社会2 佐藤真由

寺本選手は「全日本 団体優勝したい」 寺本選手は「全日本 団体優勝したい」 寺本選手は「全日本 団体優勝したい」

「新鮮力」充実



豊田キャンパス陸上競技場で練習 する池田選手(左)と佐藤選手

質問 私はラクロス部に所属 しています。スポーツを通じて社 会に貢献する経験をしたと思 っています。大学ではどんな取 り組みをしていますか。 (スポーツ科学部3年 奥村菜奈さん)



先生に聞こう



回答者 湯浅景元・スポーツ科学部教 授(バイオメカニクス、地域 スポーツ推進会議座長)

大学生の皆さんが大学で学ぶことだ けに満足しているのでは、もったいな い気がします。学んだ知識や経験を他 の人たちに伝えてあげることが、忘れ ないでほしいのです。とくに関わりの 深い大学近隣の人たちと、貴重な知識 や経験を共有しあうことは、学ぶだけ では得られない高度な人間育成の機会 を提供してくれることが期待できるか らです。

すでに地域との関わりをもっている 学生たちが多数いることは知っています。たとえば、小・中学校のクラブや 地域スポーツクラブでの指導を補助し ている学生たちがいます。中京大学は これまで、こういった学生たちへの援助 があまり積極的ではありませんでした。中京大学スポーツ振興室は、この ような実情を打破するために「地域ス ポーツ振興のための学生社会活動促進 プロジェクト」(スポーツ地域貢献) を立ち上げました。

予定では、2015年度から地域スポ ーツ振興に携わる学生の登録と保険加 入、学校における体育授業やクラブへ の派遣、豊田市などの自治体やトヨタ 自動車のような企業主催のスポーツ教 室への派遣などを計画しています。学生 たちの力を地域スポーツの発展に活用 していただくことになっています。

さらに、登録学生を高度な知識と経験を持 った専門家として育成できるように研修会が 開催されます。スポーツの指導は有資格者によ って行われることが、いっそう強く要求され るようになってきました。研修会を通して 有資格者にふさわしい見識と知識と指導力をも った学生を育てようというわけです。

スポーツには人間の知的、肉体的、道徳的 発達に貢献する力があります。その力と学生 たちの力を結集して、地域に貢献しようでは ありませんか。

知識・経験を地域スポーツ振興に生かそう

東京パラリンピック照準 陸上の池田選手 佐藤選手「僕も狙う」

「本当にうれしい。一生懸命頑張りたい」。陸上競 技部の池田樹生(みきお) 選手(スポーツ科1、三好) は「恵まれた環境で思い切 り練習ができる」ことを喜 んだ。 右膝から下と右肘から 先がない。左手の指も3本 欠いている。障害を持って 生まれたが、「体を動かす ことが大好き」だった。物 心がつくと兄について駆け 回り、小学時代はサッカー に野球、中学の3年間はバ スケットボールに打ち込ん だ。 中京大職員でロンド ンパラ日本代表の短距離 ランナー佐藤圭太選手 (2013年度体育卒)は、 同じクラスの先輩になる。 池田選手は「競技の面はも ちろん、生活、練習態度も 見習いたい」と話す。佐藤 選手は「僕も(東京、パ)の 時は」29歳ですから。狙い ます」と共にさらなる成長 を目指している。

陸上に目を向かせたの は1枚のポスターだった。 中3の時、義足の修理のた めに訪れた義肢製作所でパ ラリンピック選手の走り幅 跳びの勇姿を見た。「これだ と思った」。愛知県立三好 高校のスポーツ学科に進学 し、陸上競技部に入った。 高2の2013年10月、 アジアユースパラ競技大 会(マレーシア)に日本代 表として出場し、下腿切断 クラスの100分、200 分両種目で優勝している。

と中京大を選んだ理由を語 る。今季の目標は100分 59秒台、200分は2分10 秒突破に置いている。(現代 社会2 佐藤真由) 緒のチームで全日本選手権 に出られる(湯元選手)、 京シムナスティッククラブ の力に期待する。 平均台に自信を持つ湯 元選手、段違い平行棒が得 意の松村選手の力を引き出 しながらチームワークを作 っていくつもりだ。現代社 会3 池尾和哉、写真も) 寺本選手は「全日本 団体優勝したい」 寺本選手は「全日本 団体優勝したい」 寺本選手は「全日本 団体優勝したい」

硬式野球 V 戦士そろろう

合言葉は「日本一」好調スタート

愛知大学野球春季リーグ戦が開幕し、硬式野球部は好調に滑り出した。岡部投手は勝ち点を挙げた愛知大との開幕戦で完投。優勝した2013年秋の首位打者、鈴木広樹選手が完全復活を果たし、以来の勝利投手となった。

岡部投手復活

開幕戦で完投勝利を挙げた岡部投手



第2週の愛知学院大戦では初戦と第3戦に先発。勝利に結びつかなかったが、投球内容は見事だった。13年秋の首位打者、鈴木広樹選手(スポーツ科4、中京大)もアキレス腱断裂の重傷から復帰。開幕戦でクリーンヒット打ち、復活を印象付けた。

半田卓也監督は「2人が復活したのは大きい。優勝メンバーが4年生でそろった。手心を感じている。岡部投手は左肘じん帯の炎症を悪化させて、1年間を棒に振った。菊地啓太コーチは下半身や体幹の強化に取り組ませた。昨年暮れから2月まで徹底して走り込んだ。岡部投手は「とにかくチームに貢献したい」と言い、菊地コーチは「回り道したことが彼を大人にした」と成長を認める。さらに飯田達也(スポーツ科、東邦)、川本毅(スポーツ科、中京大中京)、鈴木孝幸(スポーツ科、浜松市立)、丸井陸(スポーツ科、菟野)、村田遼太郎(スポーツ科、享栄)選手ら優勝チームが最終学年でチームを引っ張る。チーム内の合言葉は「日本一」だ。(現代社 池尾和哉 写真も)

田中恒成選手

5月30日 世界王座挑戦

ボクシング

「必ずチャンピオンになります」。経済学部2年在学中のプロボクサー田中恒成選手(中中ジム)が5月30日、愛知県小牧市のパークアリーナ小牧で、WBO(世界ボクシング機構)世界ミニムム級王座決定戦に臨む。プロ5戦目。勝てば王座獲得の日本選手最速記録の更新となる。



中京大学で3月23日に開かれた記者会見には、畑中清詞・畑中ボクシングジム会長、田中選手の父でト

「必ずチャンピオンになります」。経済学部2年在学中のプロボクサー田中恒成選手(中中ジム)が5月30日、愛知県小牧市のパークアリーナ小牧で、WBO(世界ボクシング機構)世界ミニムム級王座決定戦に臨む。プロ5戦目。勝てば王座獲得の日本選手最速記録の更新となる。

中京大学で3月23日に開かれた記者会見には、畑中清詞・畑中ボクシングジム会長、田中選手の父でト



バドミントン男子 春季リーグで3位

バドミントンの東海大学選手権大会春季リーグが、4月2-4日に名古屋市の名東スポーツセンターで行われ、中京大は男子が3位に入った。昨秋に続く優勝が期待されていたが、惜しくも連覇はならなかった。

初日は愛知学院大、愛工大と対戦し、2試合とも3

監督就任10年目の春を迎えた。「選手たちの(物事に対する)価値観や文化観を変える」ことから始め、当初では考えられなかったほど、選手たちの進化に手ごたえを感じている。

中京大はかつて、東海学生ラグビー界の盟主だった。「リーグ19連覇」「リーグ133連勝」など不滅ともいえる数字がその証でもある。全国大学選手権での勝利にもあと一歩のところまで何度か迫った。

しかし、関東や関西勢の厚い壁に跳ね返され続け、さらに強化策を重ねた東西の大学との差はそう簡単には埋め

Chukyo's COACH

ラグビー部 中本光彦 監督



中本光彦監督(なかもと・みつひこ) 兵庫県加古川市出身。高校時代に野球からラグビーに転身。加古川西高校から関東リーグ戦の伝統校でもある中央大学に進学。高校、大学を通じてナンバーエイトのポジションを務めた。

筑波大学大学院体育研究科修了。中京大の公募に応じ、2004年に嘱託講師。助教、専任講師を経て今年度からスポーツ科学部准教授。ラグビー部監督には05年に就任した。

監督就任10年目の春を迎えた。「選手たちの(物事に対する)価値観や文化観を変える」ことから始め、当初では考えられなかったほど、選手たちの進化に手ごたえを感じている。

中京大はかつて、東海学生ラグビー界の盟主だった。「リーグ19連覇」「リーグ133連勝」など不滅ともいえる数字がその証でもある。全国大学選手権での勝利にもあと一歩のところまで何度か迫った。

しかし、関東や関西勢の厚い壁に跳ね返され続け、さらに強化策を重ねた東西の大学との差はそう簡単には埋め

就任当時、「選手たちは負けても悔しがらず、東海学生リーグの下位に低迷していた。選手たちの価値観を変えたい」という思いで、監督として、選手たちを指導して、自分自身を鍛えたい。選手たちが、自分の考えを押し付けることをやめた。このようにすれば、こう結果が出る。理を尽くして説明することを心がけた。

それから10年。選手の側から「食事やプロテインの管理をしたい」と言われ、いかに相手に攻撃権を渡さずに、我慢できるかが勝負」とみて、1試合30分、40分ある攻守の転換を20回以下に抑えることを目指している。それには体力とパワー、そして何より強じんな精神力が重要だ。

「練習の意味をしつかりと理解し、こういう気持ちで取り組むか。選手たちには「迷ったら辛い方を選べ」と言っている。(心理) 4 宮原つかさ、写真も

理を尽くして説明する

監督就任10年目の春を迎えた。「選手たちの(物事に対する)価値観や文化観を変える」ことから始め、当初では考えられなかったほど、選手たちの進化に手ごたえを感じている。

中京大はかつて、東海学生ラグビー界の盟主だった。「リーグ19連覇」「リーグ133連勝」など不滅ともいえる数字がその証でもある。全国大学選手権での勝利にもあと一歩のところまで何度か迫った。

しかし、関東や関西勢の厚い壁に跳ね返され続け、さらに強化策を重ねた東西の大学との差はそう簡単には埋め

就任当時、「選手たちは負けても悔しがらず、東海学生リーグの下位に低迷していた。選手たちの価値観を変えたい」という思いで、監督として、選手たちを指導して、自分自身を鍛えたい。選手たちが、自分の考えを押し付けることをやめた。このようにすれば、こう結果が出る。理を尽くして説明することを心がけた。

それから10年。選手の側から「食事やプロテインの管理をしたい」と言われ、いかに相手に攻撃権を渡さずに、我慢できるかが勝負」とみて、1試合30分、40分ある攻守の転換を20回以下に抑えることを目指している。それには体力とパワー、そして何より強じんな精神力が重要だ。

「練習の意味をしつかりと理解し、こういう気持ちで取り組むか。選手たちには「迷ったら辛い方を選べ」と言っている。(心理) 4 宮原つかさ、写真も

川本選手 世界水泳代表

100バタフライ自己新



東京辰巳国際水泳場で4月12日に行われた日本選手権100バタフライで、川本武史選手(スポーツ科3、豊川)が自己ベストの51秒89で2位に入賞した。50メートルの2冠はならなかったが、初の51秒台入りを果たすとともに

世界選手権派遣標準記録を突破し、この種目の世界選

「派遣標準は切れて当たり前」と出場を決めた。(現代社 前と想っています。当面の

対して勝ったが、2日目は愛知淑徳大と日本福祉大にともに1対3で敗れた。

仲瀬元和主将(現代社会3、高岡第一)は「インカレ出場を目指し、もっと個々に成長したい」と話した。

準硬式野球の東海地区

インカレ出場へ

準硬式野球

優勝チームには全日本大学選手権(8月20日から、石川県)への出場権が与えられ、10年ぶりの制覇を目指す

ユニバに4選手

また、7月に韓国・光州で開催されるユニバーシアード大会には、男子背泳ぎの長谷川純矢選手(スポーツ科4、島田)、江戸勇馬選手(スポーツ科4、桃山学院)、女子自由形の和田麻里選手(スポーツ科3、朝倉光陽)、女子背泳ぎの高橋美紀選手(スポーツ科2、愛知みずほ大瑞穂)の4人が日本代表に選ばれた。